

| | | | |
|---|---|-------|-------------|
| 事業名 | | 代表者所属 | 広島国際学院大学工学部 |
| 08KJ-06 | | 代表者 | 講師 渡邊 真彦 |
| 定期教育交流講座『HERO Hiroshima Engineers Reaching Out』 | | 開催地 | 広島市 |
| | | 助成金額 | 10万円 |
| 活動概要 | <p>①7月27日(日) 13:00～15:00 テーマ:『アンテナ』をつくってみよう 講師:歌谷昌弘(情報デザイン学部准教授)</p> <p>②7月27日(日) 13:00～15:00 テーマ:楽器を作ろう!～ギター編～ 講師:内海能亜(工学部准教授)</p> <p>③7月27日(日) 10:00～15:00 テーマ:音で遊ぼう～吹く楽器編～ 講師:渡邊真彦(工学部講師) ※当日受講予定者より欠席連絡があり実施できず。</p> <p>④7月27日(日) 13:00～15:00 テーマ:『空気』を使ったおもちゃ作り 講師:中村格芳(工学部講師)</p> <p>⑤8月3日(日) 13:00～15:00 テーマ:『ソーラーカー』を作ろう! 講師:金本貴司(自動車短期大学部助手)、楠木良治(自動車短期大学部助教)</p> <p>場所: 広島国際学院大学立町キャンパス 対象:小学生、参加者:43(人) 内訳(小中高の先生:未調査)(生徒:24人) 講座5件(全5回)、講師:6名</p> | | |



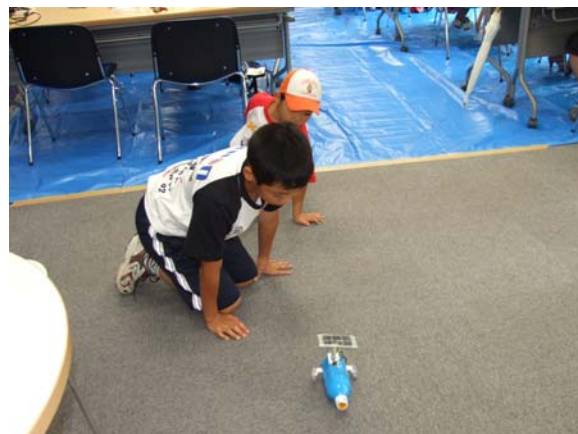
『アンテナ』を作ってみよう!



楽器を作ろう!～ギター編～



『空気』をつかかったおもちゃ作り



『ソーラーカー』を作ろう!

事業の目的・ねらい

本事業は5年前から開始し290名を超える方々に受講していただいております。本年度で6回目の開催となり地域の皆様に多様な講座をご提供させていただいております。本事業、定期教育交流講座「HERO Hiroshima Engineers Reaching Out」は、小中学生や高校生などに対して、一般に広く使われている科学技術をやさしい実験などを通してその面白さを感じてもらうことを目的としています。低年齢対象講座には毎年親子連れで受講される方も多く、短い時間ではありますが大変楽しかったと好評を頂いており、我々の励みとなっております。「HERO」は本学院の機械、情報、バイオ、リサイクル、自動車など幅広い分野の専門講師で構成されており、各々の分野を活かした視点から毎年トピックを選定しております。また、それぞれの講座は幅広い年齢層の方々が受講しやすい内容・構成となるよう工夫を行っております。今後も我々HEROは広島県民に対して地域貢献を行っていく所存でございます。

事業の概要

これまでの推移を参考に本年度は全ての講座の受講者を小学生以のみに絞り下記の講座内容にて実施いたしました。各講座はおおむね2時間から長いもので4時間程度となっており、十分物作り体験が楽しめるように設定しております。残念ながら下記のうち1講座(音で遊ぼう)は受講者の都合により実施できませんでしたが、参加者は43人で保護者を除いた受講者は24人と多数の方に講座を提供できました。物作りの講座では参加された保護者にも手伝ってもらった形式のものや、保護者もお子様と同じ物を同時進行で、作っていた形式のものがありました。

HERO 2008 実施講座名・講師・参加対象者一覧

| 開催講座名 | 講師 | 参加対象者 |
|----------------|--|-------|
| 『アンテナ』を作ってみよう! | 歌谷昌弘 情報学部情報デザイン学科 准教授 | 小学生 |
| 楽器を作ろうギター編 | 内海能重 工学部総合工学科 准教授 | 小学生 |
| 音で遊ぼう吹く楽器編 | 渡遺真彦 工学部総合工学科 講師 | 小学生 |
| 『空気』を使ったおもちゃ作り | 中村格芳 工学部総合工学科 講師 | 小学生 |
| 『ソーラーカー』を作ろう! | 金本貴司 自動車短期大学部自動車工業科 助手 楠木良治 自動車短期大学部自動車工業科 助教 | 小学生 |

結果及び効果

本講座「HERO」は今年度で6回目の実施となりました。これまでのアンケート結果および参加者の年齢構成を鑑み、今回は全ての講座で対象者を小学生としました。また、比較のため講座内容も昨年度と大きく変えず実施いたしました。結果的に保護者を除く24人の小学生がものづくり体験したという結果になりました。夏休み期間ということもあり、多くの小学生が保護者の方々と参加して下さり、楽しい講座を実施することができました。専門的な工具などを利用する講座もあり、年齢によっては難易度が高いものもあつたのですが、保護者や隣に座った人と協力し一つのものを作り上げていく姿がみられました。また毎年の傾向ですが、昨今大人と子供のふれあいが減少しているなか、年齢を超えて同時進行で同じ物を作り上げるという時間は非常に貴重であることを痛感いたします。このような経験から将来すばらしいチームワーク力を持った未来の科学技術者が育つことを予感させてくれます。受講者の方々に記入していただいたアンケートの集計結果、なにより全ての方が楽しかったと答えていただいているように、全体的な満足度が高く我々の今後の励みになる結果となりました。対象者を小学生とした結果受講者の興味はほとんどが「ものづくり」であり、ロボットなど具体的な対象への興味も増えております。環境への関心からエコ素材を利用したような工作の要望等もあり、これらを参考にして今後の講座内容に反映したいと考えております。本講座は他の講座に比べ非常に独創的なコンテンツを毎回提供させていただいておりますが、今後ますます物作り要素の豊富な講座を提供するにあたって、内容が濃く且つ時間内で、安全に楽しめるコンテンツを積極的に開発していく所存でございます。